

平成22年3月6日（土）

自治基本条例施行記念フォーラム『知って みんなで動かそう！まちのルール』記録

【神谷学 安城市長挨拶】



皆さんこんにちは。

本日は、足元の大変悪い中「自治基本条例施行記念フォーラム」に大勢の皆様方にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

安城市では、自治基本条例を4月1日に施行いたします。2年以上にわたりまして多くの皆様に関わっていただき制定することができました。この場をお借りして心よりご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

この条例は、まちづくりの基本理念やルールを定めており、市民参加と協働、そして情報の共有を基本原則として掲げております。詳細につきましては本日皆様のお手元にリーフレットを配布させていただきましたので、後ほどゆっくりとご覧いただければ幸いです。

条例の制定にあたりましては、つくる過程から市民参加でという考えに立ちまして、策定の当初から多くの市民の皆様方に関わっていただきました。また、議会においても活発な議論をいただき、市民・市議会・行政との協働の結果として安城市自治基本条例の制定に至ったものと受け止めています。

安城市では、これまでも市民参加としてワークショップの開催や審議会での公募市民の募集、パブリックコメントの実施など様々な機会を通じて、多くの皆様のご意見をいただいていたと思います。この間、積極的にまちづくりに関わろうという意識が高まりをみせてきていると感じられ、本日のフォーラムも条例の策定に参加された方々を中心に、新たに組織された「あんき会」の皆さんとの協働で開催をさせていただきました。

このようなまちづくりに対する自主的な取り組みや活動が様々な分野で組織され、市内各所で行われていくことが自治基本条例の精神であると考えています。

行政では、このようなまちづくりに対する意識の高まり、あるいは積極的な取り組みなどをしっかりと支援し、協働によるまちづくりをさらに進めていきたいと考えております。

本日は、財団法人地方自治総合研究所長の辻山幸宣先生にご講演を賜ります。また、後半のリレートークでは、地域の課題やまちづくりに取り組んでいらっしゃる4名の方々にお願いいたしました。

本日、皆様方からいただきますご意見やご提言につきましては、安城市といたしましても今後のまちづくりを進める中で参考にさせていただきたいと思っております。

最後になりますが、本日のフォーラムが市民が主役のまちづくりを進めていくにあたりまして、それぞれの方にとって実りの多いものになりますよう心よりご期待を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

平成22年3月6日（土）

自治基本条例施行記念フォーラム『知って みんなで動かそう！まちのルール』記録

【近藤正俊 安城市議会副議長挨拶】



皆さんこんにちは。

ただ今ご紹介を賜りました市議会副議長の近藤でございます。本日は議長が他の公務のため、代わりまして市議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

日頃は、議会運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ただ今、市長からも話がありましたとおり、本市の自治基本条例の制定にあたりましては、市民と行政、そして議会との協働ができた成功事例であると思います。

また、多くの皆さんが議論や検討を積み重ねる過程で、まちは自分たちのものという認識が一段と深まったのではないかと感じております。

議会と行政は、昔から車の両輪だと言われています。車の両輪の運転手は市民の皆様です。市民と行政との協働は盛んに言われますが、市民と議会との協働も大変重要なことであります。このトライアングルがそれぞれ結びつくことによって、安城市のまちづくりが一層進むものと考えております。

2000年の地方分権一括法の施行により地方の時代と言われ、流れは地方分権、地域主権へと移行しています。それに対応するためには開かれた議会運営が求められています。

このため、今年度は、議場傍聴席の改修に取り組み、車椅子スペースを改善するとともに、手話や要約筆記に加えFMシステムを導入し、難聴者への対応も充実しました。

来年度は、さらに市民アンケートを実施し、皆様の声を開かれた議会運営に反映させていきたいと考えております。

これから市民一人ひとりがお互いを大切に、だれもが幸せに暮らし続けることのできるまちづくりを進めるために、是非とも皆様方の温かいご指導、ご尽力を賜りたいと思います。

議会としましても、今後、自治基本条例の理念のもと、町内会、市民活動団体、企業などの諸団体や多くの市民の皆様方と連携・協力し、安城市全体に開かれた議会としてご期待に沿えるよう努めて参ることを申し上げ、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。